

この教材見本は、実際の 1 カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の 1 カ月あたりの学習量は、1 回30分×4 回です。この教材見本は 1 カ月分の一部を抜粋して掲載しています。

下記の黒字が今回の掲載回です。

感想を書く

- 1 第 1 回 アプローチ
- 2 第 2 回 アプローチ
- 3 第 3 回 アプローチ
- 4 添削問題

1

感想を書く

第1回 アプローチ

30分

今月学習すること

感想を書く

《目標》 感想文を「感動した」だけでは終わらせない

今月の添削問題

課題文（向田邦子「無口な手紙」）を読んで感想文を書きます。

準備1

文章を読んで、いちばん心に残ったことはなんですか。書いてみましょう。

準備2

なぜ心に残ったのですか。その理由を書いてみましょう。

解答用紙に三〇〇字以内で感想文を書きなさい。

感想文の書き方って、これまで教えてもらったことがないな。どう書いたらいいんだろう。



学習の流れを確認しよう

今回の単元は「感想を書いてみよう」です。課題文を読んで、考えたことや感じたことを作文に書いてみましょう。次のようなステップで書いていきます。

今回はコレ!

第1回 アプローチ

- ・課題文に書かれている内容をつかもう
- ・いちばん心に残ったことを明確にしよう
- ・具体的に説明するための材料を集めよう

準備1・2

第2回 アプローチ

- ・材料をもとに更に考えを深めよう
- ・「構成メモ」を書こう
- ・作文を書いてみよう

第3回 アプローチ

書いてみた作文を推敲しよう

今月の添削問題が完成!

今回の課題文

一

課題文（向田邦子「無口な手紙」）を読んで感想文を書きます。

（著作権の都合により、課題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、課題文を掲載しておりません）



課題文に書かれている内容をつかもう

感想文は、何かを説明したり、意見や論理を展開したりする文章ではありません。**文章を読んであなたが考えたことを書き表せばよいのです。**そのためには、文章を深く味わうことが大切です。まずは、文章に書かれていることを**正確に読み取りましょう。**



やってみよう①

文章の内容を整理するために、次の表の空欄くうらんにあてはまる表現をそれぞれ考えて書きなさい。

◆時代

東京空襲が激しくなった

(A)

末期

◆場面

空襲が激しくなり

(B)

が学童疎開した。

1 父の行動

- ① 字の書けない妹に、宛名を書いたハガキを沢山渡し、元気な時は大きなマルを書いて毎日出すようにといった。
- ② 勤めから帰ると、茶の間に駆けこみ、妹からきた、

(C)

2 妹の行動

- ③ 百日咳になってやせ細った妹が帰ってきた時、

(D)

- ① 一通目は、ハガキからはみ出しそうな大きなマルを書いた。
- ② ハガキのマルは

(E)

- ③ 百日咳で寝込んでしまった。

(F)

帰ってきた。

状態で

課題文を確認しながら
書けばいいんだね。



次に、解答例を示しておきます。内容が同じであれば、表現が異なってもかまいません。

解答

① 例 戦争 ② 例 末の妹

③ 例 (勤めから帰ると、茶の間に駆けこみ、妹からきた、)

うすい鉛筆の、勢いの悪い小さなマルが書かれたハガキを何もいわずに見ていた。

④ 例 (百日咳になってやせ細った妹が帰ってきた時、) 裸足で門へ飛び出し、妹を抱えこむようにして号泣した。

⑤ 例 (ハガキのマルは) 次の日から急激に小さくなり、バツになり、バツのハガキも来なくなった。

⑥ 例 別の子供のようにやせ細った(状態で帰ってきた。)

課題文は、第二次世界大戦中の妹の学童疎開について書かれています。現代の私たちの想像力では追いつかない部分もあるかもしれませんが。興味のある人は、図書館などで戦時中の暮らしについて調べてみると、より課題文の内容が理解できます。

ここで必要な力



「課題文・資料などを理解する力」

・与えられた課題文や資料を読み、どのような内容なのかをつかむ



いちばん心に残ったことを明確にしよう

次に、課題文を読んで感じたことを書き留めていきます。みなさんは、「初読の感想」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、「最初に文章を読んだ時に感じたこと」を指します。この自分の素直な感想が、感想文を書くために大切になります。この段階では、立派な言葉にまとまっていなくてかまいませんので、思いついたことをどんどん自由に書いてみましょう。



初めから立派なことを書くとは思わなくてもいいんだね。よし、感じたことをどんどん書いてみるぞ。



登場人物の気持ちについて想像したことや、行動について自分が思ったことを書くのかな。

例えば、まひろさんは、次のようなことを感じたようです。

① まひろさんのメモ

◆初読の感想

- ・まだ小学校に入ったばかりの妹が疎開しなければならないなんて、かわいそうだ。
- ・マルとバツで、自分の名前ぐらいしか書けない妹が疎開先での様子を連絡できるようにしたのはよい考えだと思った。
- ・マルとバツしか書かれていないハガキだと、かわしいことが

わからないから親はよけい不安になるかもしれない。
妹を抱えこむようにして号泣するなんて、父はよほどつらかったのだろう。



やってみよう②

それでは、みなさんも初読の感想を書いてみてください。

◆初読の感想

初読の感想が書けたら、文章を読み直しましょう。その際、文学的文章（小説・随筆^{ずいひつ}）では、次の点に気をつけてください。

！考え方のヒント

1. 時代背景を考^{かんが}えて読む。
2. 風景や行動の描^{びようしや}写に、登場人物の気持ちが込められている場合があるので、注意して読む。
3. 登場人物の行動や気持ちの変化を意識して読む。
4. 自分が登場人物になったつもりで想像力をもって読む。

読み直すと、初読の時には気がつかなかった発見があるかもしれません。追加の感想があつたら、書き留めておいてください。

さて、感想をいくつか書くことができたなら、**その中で自分にとっていちばん印象に残った場面**を考えてみましょう。これが、今回の作文の主題（『いちばん伝えたいこと』になるのです）。

作文の主題を決める時は、「いちばん心に残ったことは何か」「どのようなことを感じたか」という点をはつきりさせることが大切です。例えば、文章を何度か読んでみて映像として心に残る場面は、自分にとって特に印象的な場面でしょう。**どのような点が自分の心を打ったのか**を考えて、選んでみてください。

まひろさんは次の場面を選びました。

まひろさんのメモ②

◆ いちばん心に残った場面

父が妹を抱えこむようにして号泣した場面。

◆ 理由

父はよほどつらかったのだろうと思ったから。

つまり、〈妹を抱えこむように号泣した父は、よほどつらかったのだろうと思い、いちばん心に残った〉ということが、まひろさんの作文の主題（＝いちばん伝えたいこと）になるのです。



やってみよう③

準備①・②

いちばん心に残ったことを考え、作文の主題を決めましょう。

◆ いちばん心に残った場面

◆ 理由

ここで必要な力



「主題を決める力」

- ・与えられた課題を読み、何について作文を書けばよいのかをつかむ
- ・課題に合わせて、作文で伝えたいことを候補の中から選ぶ

具体的に説明するための材料を集めよう

いちばん伝えたいことが決まったら、それらを説明するための材料を集めます。

まず、取り上げた場面について「登場人物はその時どのような気持ちだったのだろうか」をくわしく考えてください。それができたら、今度は「自分ならどうか」と自分に引きつけて考えてみましょう。自分に引きつけるには、次の視点からとらえるとよいでしょう。

！考え方のヒント

1. いちばん心に残ったことに関連する、自分自身の具体的な体験はないか。
2. 自分だったらどのような気持ちになるだろうか。また、どのように行動するだろうか。

この「自分ならどうか」を考えた材料集めは、感想文をあなたならではのものにするためにとても大事な作業です。

では、具体的にどのように考えればよいのか、まひろさんのメモを見てみましょう。まひろさんのいちばん伝えたいことは、〈妹を抱えこむように号泣した父は、よほどつらかったのだろうと思いいちばん心に残った〉というものでしたね。

まひろさんのメモ ③

◆いちばん伝えたいことをくわしく説明するための材料

①登場人物の気持ちの想像

父の気持ち

- a マルとバツしか書かれていないハガキだと、くわしいことがわからないから、よけいに不安になるかもしれない。
- b まだ幼い妹を疎開にやるだけでも不安だろうに、バツのハガキさえ届かなくなつて、どれほど心配しただろう。
- c 妹が無事に帰ってきて安心すると同時に、つらい思いをさせてすまなかった、という気持ちだったのではないか。

妹の気持ち

- d 小学校に入つたばかりで親と離れるのは、寂しかっただろうし、体調も崩してつらかっただろう。小さいのになんばつて偉かったと思う。

②自分の体験／自分だったらどう思うか（どうするか）

- e 私は、父が声を立てて泣いている姿を見たことがない。
- f 今まで涙を見せたことがない父が泣くとしたら、やはり悲しみをこらえきれない時だろうと思った。

- g 私が体調を崩すと、親は心配して優しく看病してくれるし、私も親に頼りつきりになる。それを思うと、疎開先で寝込んでいた妹はつらかっただろう。

やってみよう ④

では、みなさんも材料を集めてみてください。「やってみよう③」で考えた場面について、「登場人物の気持ちの想像」「自分の体験／自分だったらどう思うか（どうするか）」を考えてみましょう。

◆いちばん伝えたいことをくわしく説明するための材料

①登場人物の気持ちの想像



しかも、自分のことを書くと、誰にもまねできない内容になるから、ありきたりな感想文にならなくなるね！



「自分の体験」や「自分だったらどう思うか」というのを考えると、登場人物の気持ちもより理解しやすくなるね。

②自分の体験／自分だったらどう思うか（どうするか）

読書感想文というと、「おもしろかった」「感動した」以上のことが書けずに、原稿用紙が埋められない、という経験をしたことのある人が多いのではないだろうか。

しかし、印象に残った場面について、

○同じような体験をしたことがあるか

↓それはどのような体験で、どう思ったか

○自分が登場人物と同じ立場になったらどう思うか（どうするか）

↓なぜそう思うのか

ということを、掘り下げていくと、内容がどんどんふくらんでくるはずです。

今回の課題は字数が短いですが、学校の宿題などで字数が長い感想文を書く場合は、特にこの「**自分に引きつけて考える**」という作業をじっくり行うとよいですよ。

ここで必要な力



「材料を用意する力」

・「いちばん伝えたいこと」を伝えるための材料を用意する

4

感想を書く

添削問題

30分

※ここからは『Z Study 解答用紙編』の作文「感想を書く」にご記入ください。

一

課題文（向田邦子「無口な手紙」）を読んで感想文を書きます。

（著作権の都合により、課題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、課題文を掲載しておりません）

準備に取り組もう

(注意) ・「準備①・②」は、第1回 アプローチ「やってみよう③」

と同じ内容です。

・「準備①・②」は、作文を書くための準備になります。得点にはなりませんが、裏面で書く作文の指導をする際にも参考にします。なるべく書くようにしましょう。

準備①

文章を読んで、いちばん心に残ったことはなんですか。書いてみましょう。

準備②

なぜ心に残ったのですか。その理由を書いてみましょう。

今月の添削問題

課題文を読んで、解答用紙に三〇〇字以内で感想文を書きなさい。

(配点 50)

(注意)

- ・ 題名や氏名、学校名は書かずに本文から書き始めなさい。
- ・ 書き出しは一字分空けなさい。
- ・ 段落分けはしてもしなくてもかまいません。

答案感想欄

感想文の基本的な書き方を学ぶ課題でしたが、しっかりと取り組めていましたよ。ただ、説得力のある作文にするには、主題の説明である「材料」をできるだけ具体的に、くわしく書くことがよりよくなるか、朱筆で確認してくださいね。

添削者名
長泉



課題文から戦争の悲惨さを読み取ることができました。
「課題文・資料などを理解する力」はよいです。



Aで「心に残ったこと」が示せました。また、そこから考えたことを示すことができましたね。
「主題を決める力」はよいです。

よくかけている作品は教材で紹介します。あなたの作文を紹介してもよいですか。
☐ 紹介してもよい
☐ 紹介してほしくない
※掲載の際は、本名などの個人情報掲載せず、イニシャルを使用します。

制限字数	2 / 2	表現・表記	0 / 3	主題を決める力	10 / 10	材料を用意する力	6 / 10	考察力	10 / 10	構成力	10 / 10
課題文・資料などを理解する力	5 / 5	(注) 句点。は行頭には書きません。前の行の最後のマス目に同居させるか、前の行末の欄外に書きます。									

15	て	の	平	和	の	た	め	に	自	分	に	何	が	で	き	る	の	か	、	考	え
10	地	球	上	か	ら	戦	争	は	、	本	当	に	恐	ら	し	い	と	感	じ	た	壊
5	は	、	小	学	校	に	入	っ	た	ば	か	り	の	妹	が	、	家	族	と	離	れ
	て	学	童	そ	開	を	し	な	け	れ	ば	な	ら	な	か	、	た	と	こ	な	い
	る	で	す	。学	童	そ	開	に	な	る	ほ	ど	戦	争	が	深	刻	な	状	態	な
	か	、	た	の	だ	か	ら	、	き	、	と	、	空	し	や	う	な	ど	も	ひ	な
	か	は	、	ち	の	だ	と	思	い	ま	す	。小	学	一	年	生	の	子	だ	、	こ
	の	子	も	こ	の	時	代	の	人	も	、	本	当	に	ぐ	ず	る	の	で	、	こ
	だ	と	わ	か	ら	。文	章	を	読	ん	で	。幼	い	子	ど	も	た	の	こ	、	こ
	ま	で	巻	き	込	み	、	ご	飯	を	食	べ	で	。幼	い	子	ど	も	た	の	こ
	に	暮	ら	し	たり	す	。本	当	に	恐	ら	し	い	と	感	じ	た	壊	れ	た	壊
	し	て	し	ま	う	戦	争	は	、	本	当	に	恐	ら	し	い	と	感	じ	た	壊
	の	平	和	の	た	め	に	自	分	に	何	が	で	き	る	の	か	、	考	え	た

(注) aは「私」としましょう。作文では性別に関わらず「私」とするのが適切です。

(注) b cはできるだけ漢字で示しましょう。
b「疎開」 c「空襲」

dは話し言葉です。作文では書き言葉を用いましょう。
例「など」

「表現・表記」で△1

eはわかりづらい表現です。「育ち盛りで食料がたくさん必要な」という意味でしょう。か。わかりやすい表現を工夫しましょうね。

「表現・表記」で△1

最後の行まで書けましたね。「制限字数」はよいです。



Dは自分の考えを一步深めることができています。作文全体がひきしまつてよい結びになっています。「考察力」はよいです。

「材料を用意する力」で△4

Bは、主題であるAを説明する材料ですが、ややずれています。また、この文章を読んだためにあたるCの感想とみずれているため、あなたが伝えたいことがわかりづらくなっています。

「小さい子はごはんがないとぐずってしまふ」ということよりも、そのような幼い子どもが疎開しなければならなかったことについて書くと、前後のつながりがわかりやすくなります。たとえば、「まだ幼い小学一年生の子が、家族と離れ離れになって暮らさなければならぬのは、とてもつらいことだっただろう。」などとするとよいでしょう。